

No.23		
No.22		
No.21		
No.20		
No.19		
No.18	2018/5/5	<p>1.SparView No.18 1)都市全体などの大規模3Dマッピング(BIMなどの属性含む)のAI活用を含めた自動化競争が、ますます盛んになってきた。nFramesもそのひとつであろう。 2)今週は特に「連携」の話題が多い。こうした新しい分野では、たとえ大手といえども一社単独では生き残れないのは明らかであろう。競争会社を含めた外部との人脈形成が何よりも重要。 3)低空での飛行認証・識別システム開発(LAANCなど)、スマホでリアルタイムで認証取得、急速に広がりそう。 4)Overwatch:かなりの上空から広範囲の地上や海面の小さな物体の変化や識別。大きなマーケット。当然AI技術もフル活用。優れたアイデアがあれば、あちこちからラブコール。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(16)/SparViewVol16(18)Partner.pdf</p>
号外	2018/4/30	<p>1.SPAR2018J 講演スライド&展示概要掲載 確定しました 1)講演スライド「プログラム」からリンク http://www.sparj.com/SparJ/Spar2018J/program.pdf 2)展示概要「展示配置図」からリンク http://www.sparj.com/SparJ/Spar2018J/FloorPlan.pdf</p>
No.17	2018/4/28	<p>1.SparView No.17 1)6次元SLAM技術とは初耳です、 2)ブロックチェーンは、仮想通貨の世界かと思っていたが、エンジニアリング情報ネットワークにも役立つようです。 3)動植物の生態とドローンとの接点、いろいろありますね。 4)水素燃料電池:重量当たりの電池容量がリチウムイオンの3倍ドローンには向いてますね、</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(16)/SparViewVol16(17)6D_SLAM.pdf</p> <p>2.ドローン事故調査会クラウドファンディング 100万円突破。これは資金集めが主目的ではありません。 一刻も早く安全かつ健全な利用が広がることを願うため、業界や社会の認知を高めるのが主目的です。賛同いただける方、ぜひ登録を...</p> <p>http://www.sparj.com/event/DISA01.pdf</p>
No.16	2018/4/24	<p>1.SparView No.16 1)建設工事の3D計測を真に業務に役立たせるには、現場の経験とノウハウに基づくAI活用を含めた高度なシステム化が欠かせない。 2)自動マッピングには、リアルタイムSLAM(自己位置認識)技術が必要。 3)3D Talo: エンジニアリング支援の高度なユーザーインターフェースにはゲーム技術の適用が効果的。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(16)/SparViewVol16(16)3dTalo.pdf</p> <p>2.ドローン事故調査会発足 ドローン事故防止に関心のある方、支援をお願いします。 http://www.sparj.com/event/DISA01.pdf</p>
No.15	2018/4/15	<p>1.SparView No.15 1)ゲームエンジンUnityは処理速度やユーザーインターフェースに優れているが、普通のエンジニアは使いこなせない。簡便な変換ツールが登場してくるのは有難い。 2)埋設配管検知など地中浸透レーダー(GPR: ground-penetrating radar)は便利なツールであるが難しい。スマホアプリで優しくなれば利用が広がりそう。 3)今週は軍事の話題が多い。世界の対立と不安定な世相の反映でなければいけません...</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(16)/SparViewVol16(15)GameEngineUnity.pdf</p>
No.14	2018/4/7	<p>世界中で、ドローン配送がテスト段階から実用段階にはいつてきた。必然的にトラブルや事故が目立つようになるであろう。なかでも環境の電波問題が厄介なテーマである。そうしたトラブルと解決努力を批判するのではなく、社会全体で許容し、育てていくコンセンサス作りが何よりも重要である。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(16)/SparViewVol16(14)Delivery.pdf</p> <p>2.3月のSPARJライブラリアクセス統計掲載 相変わらず 村木氏(国際)がトップであるが、中村氏(WoodInfo)が肉薄。同氏は5月のSPAR2018Jで再度別の切り口から発表頂く。</p> <p>http://www.sparj.com/WebAccess/WebPageAccessRank201804.pdf</p>
No.13	2018/3/31	<p>1)新通信技術4G LTEを使い、NEDO、KDDI、セコム、テラドローン、が連携して開発に注力している。世界ニュースに取り上げられるのは良いことだ。期待したい。 2)日本はゲームで世界をリード。VRシナリオ作成支援ツールでも先端をはしめるのではないか</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(16)/SparViewVol16(13)VRscenario.pdf</p> <p>2.書籍紹介 ドローン研究会のメンバーの一人、シリコンバレーの小池良次氏が「ドローンビジネス レポート」を出されました(内外出版社 2018-03-28 発行 本体¥2,980+税) ドローンに関する事業を考える方には、大いに参考になりそうです。 さまざまなビジネスモデルを米国の事例を中心としてわかりやすく解説しておられます。</p> <p>http://www.sparj.com/report/DroneBusinessReport_Koike.pdf</p>
No.12	2018/3/24	<p>1)FAAシンポジウム ドローン配送に向けての体制づくり加速 有視界外飛行の安全確保など 2)ホースや電線で繋いだドローンも高所の点検、洗浄、塗装などに効果大 3)東電原子力プラント内の自動探索ドローン 4)ドローン群制御・管理にAI機械学習</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(16)/SparViewVol16(12)DeliveryBVLOS.pdf</p> <p>2.SPAR2018J 5/22,23 川崎 基調講演概要 http://www.sparj.com/SparJ/Spar2018J/speaker/Keynote.pdf</p>

No.11	2018/3/17	<p>1)ドローンサービス業界の抱える問題点 新技術でもはやされるのと、ビジネスになるのとは別の話なのです。</p> <p>2)AI駆動のドローン技術をブロックチェーンで ブロックチェーンは仮想通貨問題でよく耳にするようになったが、 ドローン運転にも有効なのですね(元の意味は分散型ネットワーク)</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(16)/SparViewVol16(11)DifficultDroneService.pdf</p>
No.10	2018/3/11	<p>2.SPAR2018J 5/22.23 川崎 プログラム確定・参加募集開始 URL 参照</p> <p>1)エアバス空中タクシースのコンセプト さすがコンセプトとプレゼンはセンスあるが、実用で中国に勝てるか？</p> <p>2)トリンプルの訓練センター: 驚くべき点群利用 筆者が絶賛、一度みてみたいものだ</p> <p>3)Bluesky: インフラ用スマホ3Dマッピング スマホでも実用になる領域がある</p> <p>4)2018ドローン業界の大胆な予測 各分野のエキスパート予測(7ページ)ダウンロード可</p> <p>5)潜水と空中を行き来するドローン 水上と空中は、これまでもあったが、</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(16)/SparViewVol16(10)2018predict.pdf</p> <p>2.UAV3Dフォーラムin Japan Drone2018 3/23 幕張メッセ</p> <p>http://www.sparj.com/JapanDrone/UAV3D2018.pdf</p>
No.9	2018/3/3	<p>1) TeraRanger Hub Eye: 選択点群ライダー センシングの段階で撮り過ぎない点群、本当なら嬉しいが・・・</p> <p>2) 空中発射ロケット用世界最大の航空機Stratolaunch: 壮観でしょうね。</p> <p>3) ドローン軍拡競争も止まらない。人とお金が投入されるので 技術は進歩するであろうが、人類にとって良いことか、複雑な心境。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(16)/SparViewVol16(09)SelectPointCloud.pdf</p>
No.8	2018/2/16	<p>1)トプコン: ClearEdge買収しAEC分野強化 2)NanoMap : SLAMなしで30km/hを達成 3)プライバシー問題 4)構造物としてマグネシウムに再度脚光を</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(16)/SparViewVol16(08)privacy.pdf</p> <p>2. Japan Drone展(3/22-24) SPARJの3次元ゾーンに リーガル出展</p> <p>http://www.sparj.com/event/JD2018Riegl.pdf</p>
No.7	2018/2/17	<p>災害現場の厳しい環境の中で、人命救助のための医薬品、食糧、水などを届ける使い捨て型のドローンが役立ち そう。駆動源はもたずに上空から飛行機から投下し、グライダー機能で最低限の制御機能でターゲットの近くに到達させる。発砲ステロールとベニヤ板の機体で20kg程度まで可能としている。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(16)/SparViewVol16(07)DisposalDrone.pdf</p> <p>2.アーバンデータチャレンジ(UDC)2017シンポジウム 東京大学生産技術研究所・関本先生から、案内をいただいたものです。</p> <p>http://www.sparj.com/event/UDC2017Sympto.pdf</p>
No.6	2018/2/10	<p>人乗りドローンは、中国が開発の先陣をきっていることは何度も取り上げてきたが、EHANGの実際のデモビデオが公開された。(しやくであるが)その実力と製品としての完成度を認めざるを得ない、</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(16)/SparViewVol16(06)ChinaEHANG.pdf</p> <p>2.SPAR2018J 点群AI処理セッション SPARJ主催「第14回3次元計測フォーラム」の二日目(5/23)午後に、点群認識への機械学習AI活用セッションを計画します。これまでは人間の判断機能を見つけ出し、モデル化する取り組みがほとんどでした。今後は数千件の事例をコンピュータに入力し機械学習させるAI手法が増えてきます。 取り組み状況の発表を受け付けます。また関連情報をお持ちの方、お知らせください。!</p>
No.5	2018/2/3	<p>ドローンのマーケットは、軍用、商用含めて分野ごと、目的ごとにすみ分けていたのが、ハイブリッドなどの登場で、 数十万、数百万、数千円、数億、数十億、とほとんど切れ目なしにつながってきた感じがする。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(16)/SparViewVol16(05)SeamlessMarket.pdf</p> <p>2. Japan Drone展2018参加募集(3/22-24 幕張メッセ) SPARJ主催「第3回UAV 3D計測・活用フォーラム」は、この一部として開催</p> <p>http://www.japan-drone.com/conference/index_other.html</p> <p>参加申し込み: https://www.myregistration2.net/japan_drone2018/my/login/login.html</p> <p>3.日本写真測量学会主催講習会</p> <p>http://www.sparj.com/event/JSPRSseminar2018.pdf</p>
No.4	2018/1/29	<p>ガイガーモード 点密度がけた違いに多くとれるということで、一昨年話題になった ガイガーモードライダー。高価、使い方が難しい、ノイズなど欠点もある、 ということでまだ開発段階。当面は広く普及し始める気配はなさそう。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(16)/SparViewVol16(04)GuigerModeLidar.pdf</p> <p>2.第3回UAV 3D計測・活用フォーラム 3/23 幕張メッセ 講演概要リスト</p> <p>http://www.sparj.com/JUIDA/UAV3Dspeakers.pdf</p>
No.3	2018/1/21	<p>1)ゲームエンジンが実務に かねてより、高速グラフィック処理(とくに3次元)は、ゲームが最先端をリードしてきたが AR/VRの世界では、もろにUnityなどのゲームエンジンが使われるようになってきた。 そういえば、AIの主流になっているNVIDIAもグラフィックプロセッサとして発達 してきたエンジンです。</p> <p>2)AR/VRがあまりにもポピュラーになり、物珍しさの段階は早くも消え去りました。 実務に違和感なく、本当に役立たせるためのシステム開発には、ベテランおじさんの 業務知見・経験が必須です。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(16)/SparViewVol16(03)ArVr.pdf</p> <p>2.SPAR2018J 第14回3次元計測フォーラム5/22.23 川崎 出展募集中 早割りの期限近づいています。</p> <p>http://www.sparj.com/SparJ/Spar2018J/SPAR2018J.SpoGuide.pdf</p>

No.2	2018/1/14	<p>1) 配送ドローンのためのリング状の滑走路:面白い発想 2) ロシアのドローン対抗技術: 確実性・信頼性が高そう http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(16)/SparViewVol16(02)CircularRunway.pdf</p> <p>2.SPARJライブラリーへのアクセス 1) SPAR2017J講演 中村裕幸氏 (Woodinfo)の「森林調査」アクセス急増 http://sparj.com/SparJ/Spar2017J/speaker/nakamura.pdf 2) ARIDA研究会 (11/29)での本多嘉明先生(千葉大学)「衛星からの森林調査」も参考に http://sparj.com/report/honda20171122ARIDA.pdf</p>
No.1	2018/1/5	<p>明けましておめでとうございます 1. SparView Vol.16 No.1 今年もまた、価格破壊で幕開けした。もう何年も続いている。 1) ペロダインVLP-16: 価格\$4kのライダー 2) DiffuserCamやiDARなど新手法での3D採取、難解にて理解不能 3) ドローン信頼性、リスク管理、保険問題が重要課題に http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(16)/SparViewVol16(01)Risk.pdf</p> <p>2. プライベートな年賀状 SPARJホームページ最下段「個人的ブログ」に掲載 今年もよろしくお祈いします。</p>